学校番号	1206

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	『高等学校 新版 地理Ａ－世界に目を向け，地域を学ぶ』（第一学習社） 『詳解現代地図』（二宮書店）						
副教材等	授業担当者作成プリント等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業プリントの整理や提出をしっかりしてください。
・授業では、さまざまな地図の活用、観察や調査、統計・画像・文献などの地理情報の収集・選択・処理を行います。積極的に授業に参加してください。
・諸資料の地理情報化や地図化などを通して空間的に広がる諸事象の規則性や傾向性を考察します。その過程で、自分の考えを発表したり、話し合ったりする活動も行います。

２　学習の到達目標

①現代世界の地理的事象を系統地理的に考察し，現代世界の地理的認識を養います。
②現代世界の諸地域を，歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し，現代世界の地理的認識を養います。
③地理的な見方や考え方を培い，国際社会に主体的に生きるための自覚と資質を養います。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	○地理的諸事象，ないしは現代世界の諸地域や諸課題に興味･関心を抱き，それらを自分自身の生活との関わりから積極的に位置づけ，結びつけることができる。 ○地理学習の意義を積極的に見いだし，そこで得た知識・技能・態度をより良い社会生活へ向けて，ないしは現代世界の諸地域で起こっている諸課題の解決に生かすことができる。	○地図化する過程を通じて地理的諸事象をさまざまな角度から分析･考察･解釈し，そこから地理的概念や規則性（地理的見方・考え方）を見いだすことができる。 ○現代世界の諸地域の特色について歴史的背景との関わりから地誌的に考察することができる。 ○地理的概念や規則性をもとに，現代世界の諸地域で生じている諸課題の現状について把握することができる。	○地理学習に必要とされるさまざまな資料を収集し，それらを的確に取捨選択し，調査・分析することができる。 ○文献や統計の分析，野外における諸事象の観察から，地理情報を見いだし，それを的確に地図化することができる。 ○地図化したことを，論理的に分析・解釈することで，その成果をパワーポイントやレポートなどに的確にまとめることができる。	○地理的諸事象や現代世界の諸地域の特色，諸地域で起こっている諸課題についてさまざまな角度から理解を深めることができる。 ○地域において社会生活を営むにあたって必要とされる基礎的知識や基本的概念（空間･環境･地域），地理的見方･考え方を身につけている。
評価方法	授業状況の観察 授業プリント等提出物	授業状況の観察 授業プリント等提出物 定期考査	授業状況の観察 授業プリント等提出物 定期考査	授業状況の観察 授業プリント等提出物 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	a	b	c	d	単元（題材）の評価基準	評価方法
１学期	第１編　現代世界の特色と諸課題の地理的考察	１章　地球儀や地図でとらえる現代世界 ・地球儀や世界地図の特徴 ・国家の領域と領土問題 ・国家をこえた結びつき ２章　世界の人々の生活を取りまく地球的環境 ・さまざまな地形と生活 ・世界の気候と生活 ・世界の民族・宗教と生活・文化 ３章　世界の諸地域の生活・文化と環境 ・東アジアの暮らし ・東南アジアの暮らし ・南アジアの暮らし ・北アフリカ・西アジア・中央アジアの暮らし	○	○	○	○	ab:　グローバル化が急速に進んでいる現在では，平面で認識していた世界を，地球という球面で考えていかなければならないことを，地図を使った作業をとおして学習する。 abc:　地球儀上の位置の示し方や時差の考え方を学び，さまざまな図法で描かれた地図の特徴と欠点を理解し，用途に応じた適切な図法を選択できるようになる。 bcd:　国家とは何かを考え，またさまざまな情報手段を活用して、世界の領土問題について調べ学習を行う。 bd:世界の自然環境を地形と気候の面から大きくとらえ，なぜ差異が生まれるのか，人間生活にどのように影響しているかについて理解する。 acd:　世界の人々がもつ民族性や言語，宗教を理解し，現在発生している民族問題の本質を考察する。 acd:世界各地での人々の生活・文化は，その地域をめぐる長い歴史や自然環境に影響を受けることが多いことを理解し，日本の生活・文化を絶対視することなく，写真・地図を正確に読み取って広い視野から異文化を理解・尊重する態度を養う。	・授業態度 ・発問評価 ・レポート課題 ・プリント提出 ・定期考査

学期	単元名	学習内容	a	b	c	d	単元（題材）の評価基準	評価方法
2学期	第1編　現代世界の特色と諸課題の地理的考察	３章　世界の諸地域の生活・文化と環境 ・中南アフリカの暮らし ・ヨーロッパの暮らし ・ロシアと周辺諸国の暮らし ・北アメリカの暮らし ・中央・南アメリカの暮らし ・オセアニアの暮らし	○	○		○	abd:ムスリムの暮らしに注目し，乾燥帯，イスラーム，石油という地域性を知識として身につけ，パレスチナ問題やイスラーム原理主義など激動する世界情勢について理解を深める。 abd: ネグロイド系の人々が多く暮らす中南アフリカに注目し，現在の国家や産業に植民地支配の傷跡が残っていることを学び，その課題に向けて採られている対策を理解する。 abd: ヨーロッパの中の自然環境の違いや歴史の違い，地域性を学び，一体化の進むヨーロッパ社会の現状を，ＥＵの結びつきの過程などから理解する。 abd: ロシアとその周辺諸国について，ソ連時代からＣＩＳにいたるプロセスやソ連解体後のロシア人の生活・文化と産業などの変化を学習する。 abd: 移民の国アメリカ・カナダに注目し，移民社会と現在の多文化社会の特徴が，産業・大衆文化の形成にどのような影響を与えてきたかを理解する。またアグリビジネスやＩＣＴ産業に代表されるアメリカの先進性について理解を深める。 abd: 先住民や移民，混血など多様な人種・民族からなる中央・南アメリカの社会について，先住民独特の生活・文化や混血の国ブラジルと日系移民の歴史・生活，白人国家アルゼンチンなどを具体例に，その地域の課題も含めて理解する。 abd: 太平洋諸島も含むオセアニアについて，その位置関係，自然環境，民族移動の歴史を学び，多文化社会のオーストラリア・ニュージーランドを中心に，他地域と結びつきを強めているオセアニアについて考察する。	・授業態度 ・発問評価 ・プリント提出 ・定期考査

学期	単元名	学習内容	a	b	c	d	単元（題材）の評価基準	評価方法
2学期	第1編　現代世界の特色と諸課題の地理的考察	４章　私たちが直面する地球的課題 ・人口問題－対照的な人口増大と少子・高齢化 ・食料問題－食料需給のアンバランス ・都市・居住問題 ・資源・エネルギー問題 ・地球環境問題 ・地球的課題への取り組みと国際協力	○	○		○	abd：人口問題について，先進国の少子・高齢化，発展途上国の人口爆発という対照的な問題が起こっていることを理解する。 abd：食料問題について，食料分配の不平等さが飢餓と飽食の地域差を生み出していることを理解する。 abd：居住・都市問題について，発展途上国ではスラム，先進国ではインナーシティ問題などが現れていることを理解する。 abd：資源・エネルギー問題について，資源の限界性と偏在性を理解し，原子力発電を含む世界のエネルギー利用の変化と新エネルギー開発の必要性について考察する。 abd：地球環境問題のうち，酸性雨・地球温暖化・森林破壊と生物種の減少・砂漠化を例に学び，世界的な取り組みと地域に応じた取り組みが必要であることを理解する。 abd：国際社会の中で日本が果たすべき役割を認識し，国際協力について，グローバルに考える視点と身近な問題として考える視点を身につける。	・授業態度 ・発問評価 ・プリント提出 ・定期考査

学期	単元名	学習内容	a	b	c	d	単元（題材）の評価基準	評価方法
3学期	第2編　生活圏の諸課題の地理的考察	１章　日常生活と結びついた地図 ・地図をもって生活しよう ・身近な地図を読みこなそう ・地図表現について考えよう ・地形図を活用しよう ２章　自然環境と防災 ・日本の自然と生活 ・自然災害に備えた暮らし ３章　生活圏の地理的な諸課題と地域調査 ・地域調査の方法 ・自分の暮らすまちを調べる	○	○	○	○	abd:　自然災害の多い日本列島で，人々の生活に大きな影響を与える火山災害・水害・地震について，自然現象やこれまで受けてきた災害の歴史を理解するとともに，先人の知恵が詰まった，災害に備え，災害とともに暮らす生活について関心をもって考察する。 abc:　自然災害に備えるためには，ハザードマップや緊急地震速報の有用性を認識するとともに，災害に強い地形や環境について理解し，災害に見舞われた際になるべく被害を減らせる(減災)できるよう，地域防災力を高めるために個々人ができることを積極的に話し合う。 abc:自らが住む地域のハザードマップをインターネットで検索したり，市役所や町役場で発行しているハザードマップを入手したりして，最も起こりやすいと想定されている災害は何か，また避難時に障害となるところはどこか，など，地域とそこに住む住民とともに減災に向けて意欲的に取り組む。 abd:　地域調査について，積極的な調査を実施できるよう，地域調査の必要性を理解し，地域調査の基本を身につける。 abcd:地域調査の一環として，資料収集・現地調査を行い，的確な統計地図やグラフを作成して報告書をまとめ，発表する。	・授業態度 ・発問評価 ・レポート課題 ・プリント提出 ・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解